



議会だより

ていすかす

117号

発行：登別市議会／編集：広聴・公開委員会／発行日：2023.6.1

登別市議会

で

検索

または



市議会ウェブサイトやフェイスブックページで、議会の活動や各種情報をご覧ください

令和5年4月16日の登別市議会議員選挙告示日において、19名から届け出があり、候補者の定数（19名）を超えないことから選挙は行われず、19名の議員が選出されました。

議長・副議長就任のごあいさつと全議員の紹介、また、各委員会の委員が新たに選任されましたので各委員会構成をお知らせします。

副議長就任ごあいさつ



副議長

むらい としゆき
村井 寿行

登別市民の皆さま、このたび登別市議会副議長に選出されました村井としゆきと申します。

今回の登別市議会議員選挙では、定数19人に対し、同数の立候補者数であったため、無投票当選となりました。

私たち議員はその事実をしっかりと受け止め、今後の議会活動を通し市民の皆さまへ伝えていくことが、議会への関心につながっていくものと思います。

さて、副議長の役割ですが、議長を補佐し、公正かつ円滑な議会運営に努めるとともに、市民の皆さまの声をしっかりと聴き、市政に反映させていくことが重要な役割であると考えております。私は、市議会副議長という立場から皆さまと市政をつなぐ架け橋となれますよう、努力してまいります。

最後になりますが、今後とも市民の皆さまとさらに開かれた議会を目指し、副議長として精一杯努めてまいります。

議長就任ごあいさつ



議長

つじ ひろし
辻 弘之

本議会は昨年、議会改革度ランキング全国1位との評価をいただきました。この評価はあくまでも議会のシステムに対するものであり、そのシステムを活用して、「住民のふつうの暮らしの幸せ」を実現できるかは、議員の「質」およびそれら総体としての議会力にかかっています。

そこで、今期においては「多様性ある議会」の実現に向けたコンセプトを継続するとともに、「議論する議会」を軸とした議会力の向上を目指すことを公約

とさせていただきます。議論する議員を見える化することで、住民皆さまが私たち議員の活動状況を知り、評価できるよう改善してまいります。また、無投票当選を受けて、議員定数の適正化についても早々に議論に着手させていただきます。皆さまにおかれましては、登別の未来づくりにむけて、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



いわた めぐみ
岩田 恵
市政クラブ21



いの まさおみ
井野 正臣
市民・前進



いとう けんた
伊藤 健太
市民・前進



あだち ともや
足立 知也
市政クラブ21



ささき くみこ
佐々木 久美子
日本共産党



こんの まさひろ
今野 幹大
公明党



くどう くにお
工藤 倶二雄
市民・前進



かなざわ のりお
金澤 則男
日本共産党



おぐり よしろう
小栗 義朗
公明党

議員の紹介

(五十音順で掲載)



と い はじめ
戸井 肇
市民・前進



てん じんばやし よしひこ
天神林 美彦
市民・前進



ち だ ふみたか
千田 文孝
市民・前進



た なか かん じ
田中 寛志
市政クラブ21



すぎ お なお き
杉尾 直樹
市政クラブ21



当選証書付与式の様子



わか き やす お
若木 康夫
市政クラブ21



みやたけ しょう こ
宮武 祥子
市政クラブ21



なり た あきひろ
成田 昭浩
市民・前進

予算・決算委員会

委員長 ち だ ふみ たか
千 田 文 孝
副委員長 わか き やす お
若 木 康 夫

議長を除く全議員で構成
(決算審査時は、議長および監査委員を
除く全議員で構成)

議会運営委員会

委員長 みや たけ しょう こ
宮 武 祥 子
副委員長 てん じんばやし よしひこ
天神林 美 彦
わか き やす お あ だち とし や
若 木 康 夫 ・ 足 い 立 も 也
千 田 の 文 ふみ たか 井 い の 野 まさ 正 おみ
今 の 幹 まさ ひろ 井 さ 佐 木 久美子

生活・福祉委員会

委員長 こん の まさ ひろ
今 野 幹 大
副委員長 すぎ お なお
杉 尾 直 樹

いわ た めぐみ い とう けん た
岩 田 恵 ・ 伊 藤 健 太
と 井 肇 ・ 金 澤 のり 則 男

総務・教育委員会

委員長 い の まさ おみ
井 野 正 臣
副委員長 さ さ き く み こ
佐 々 木 久美子

あ だち とし や く どう く に お
足 立 知 也 ・ 工 藤 俱 二 雄
千 田 文 孝 ・ 小 栗 よし 義 郎

広聴・公開委員会

委員長 い とう けん た
伊 藤 健 太
副委員長 お 栗 よし 郎
小 栗 義 郎

た なか かん じ いわ た めぐみ
田 中 寛 志 ・ 岩 田 のり 恵
と 井 肇 ・ 金 澤 のり 則 男

観光・経済委員会

委員長 た なか かん じ
田 中 寛 志
副委員長 なり 成 た 田 昭 浩
成 田 昭 浩

みや たけ しょう こ わか き やす お
宮 武 祥 子 ・ 若 木 康 夫
天神林 美 彦 ・ 村 井 寿 行

※議会選出の監査委員に工藤俱二雄議員が選出されました。



令和5年3月9日(木)～14日(火)

予算審査 特集

委員17名が
令和5年度予算を問う

令和5年度当初予算の内訳

全会計

416億4,770万円

(前年度当初比18億7,540万円増)

一般会計

243億8,000万円

(前年度当初比18億800万円増)

特別会計

104億7,910万円

(前年度当初比2億1,850万円増)

公営企業会計

67億8,860万円

(前年度当初比1億5,110万円減)

令和5年第1回定例会において、3月9日(木)～14日(火)の4日間、予算・決算委員会を開催し、令和5年度の予算関連議案の審査を行いました。

委員17名から約150項目にわたる質疑の後、総括質疑を行い、審査は合計で19時間9分に及び、その結果、一般会計予算、各特別会計予算及び各事業会計予算を全て全会一致で可決しました。

一般会計243億8千万円と特別会計104億7千910万円、公営企業会計67億8千860万円を合わせ、繰越明許費分を含めた実質的な予算規模は418億9千68万円となった。

一般会計の主な事業は、消防本部新庁舎建設事業費14億9千39万円、認定こども園整備事業補助金3億1千552万円、JR登別駅エレベーター等設置事業補助金3億379万円、市役所本庁舎建設事業費(実施設計等)

令和5年度 予算審査の概要

詳しい質疑の内容を録画中継でご覧いただくことができます。スマートフォン等をお持ちの方は、下記の二次元バーコードからぜひご覧ください。



1億2千796万円などが計上された。

昨今の物価高騰に伴う石油製品や電気料金・燃料費等の引き上げにより、令和4年度と比較して、約2億7千万円の増など、予算規模は大幅な増加となった。

4億円の財源不足が生じたが、北海道市町村備荒資金組合超過納付金の取り崩しで補う財政措置となった。

4日間で行われた予算審査の経過と結果についての概要は、一般会計の歳出は各款ごと、歳入は全般にわたり質疑を行い、市民・前進と市政クラブ21の2会派の総括質疑終了後、全会一致で原案のとおり可決した。

特別会計と公営企業会計については、後期高齢者医療と下水道事業についての質疑はなかったが、国民健康保険・学校給食事業・介護保険・カルルス温泉スキー場事業・水道事業及び簡易水道事業について、歳入歳出全般にわたり質疑を行い、質疑終了後、全会一致で原案のとおり可決した。

(二瓶)

予算・決算委員会（令和5年度予算審査）総括質疑

総括質疑

市民・前進



質 市政執行方針における新しい時代を意識した、3つの重点方針に定める形での予算編成と前向きに評価しているが、一方で、物価高騰の影響などにより、令和3年度予算から続いた均衡予算が組めなかった点や、今後予定している大型事業の実施による予算額の増など、不安要素を感じている。

答 令和5年度予算編成について、4億円の財源不足が生じたことも踏まえ、どのように捉えているのか。

答 市が目指す将来像の実現に向けて、展開する重要施策の基本方針として3つのキーワードを定め、重点的な予算措置を行った。

災害に強いまちづくりに向けた市役所本庁舎事業等を引き続き実施するほか、環境にやさしいまちづくりを進めるため、表明したゼロカーボンシティへの挑戦に向け、国の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用した事業による取り組みを進めるなど、将来に向けた積極的な予算措置ができたと考えている。

中期的には、固定経費となり得る経常経費の増加という課題点が、浮き彫りになったと捉えている。

(千田・井野)

総括質疑

市政クラブ21



質 予算増の要因とそれに伴い4億円の財源不足が生じたことへの捉えは。

答 当初予算は、対前年度18億800万円(8%)増の24億8千万円となった。

増加の主な要因は、消防本部新庁舎建設、認定こども園整備事業、JR登別駅エレベーター等設置事業など、大型事業に係る経費が大きいに加え、昨今の物価高騰に伴う石油製品価格や電気料金の引き上げで燃料費・光熱水費の大幅な増が要因となっている。

一方、歳入では各建設事業費の増や市税、地方交付税の増になり、4億円の財源不足となったが、最小限にとどめることができたのは、これまでの取り組みの一定の成果であり、今後もし引き続き同様の取り組みを行う。

質 市内経済の活性化への考えは。

答 企業誘致は厳しい状況が続く中、関係各所と共に取り組みを継続する。

さらに、ここ数年で実施のワーケーションや、日本工学院北海道専門学校でのサテライトオフィス活用については、テレワークの急速な普及により、4つの企業との契約があり、今後も取り組みを続け、関係人口や雇用機会の創出、地域経済の活性化につなげたい。

(杉尾)

予算・決算委員会（令和5年度予算審査）各委員の質疑

学校給食費が近隣市より高いのはなぜ

質 令和5年度の学校給食事業特別会計における給食事業収入において、本市の給食費が近隣市より高い原因について確認したい。

答 本市の学校給食センターは、施設内が手狭であるため、連続フライヤーやスチームコンベクションなどの加熱調理器がなく、揚げ物などの副食（おかず）については、加熱調理済みのものを購入しており、その部分が単価に反映されていることが、近隣市より給食費が高い原因と認識している。

(天神林)

スキー場第1リフトの今後は

質 令和5年度に大規模改修予定となっている、カルルスサンライバスキー場第1リフトの今後の改修計画並びに、リフトの安全確保については。

答 改修費用の高騰などにより令和5年度の実施は見送ったが、今後はリフト乗車人数の推移や運営状況、社会情勢などを勘案しながら、第1リフトの改修規模や実施時期などを検討する。

今後の安全確保については、随時点検をしながら必要な箇所を修繕し、安全・安心なリフト運行を進めていく。

(宮野)

市民活動センターの今後の活性化策は

質 施設の利用申し込みにおけるウェブ予約の導入の考えはあるのか。

答 予約システムの最終調整段階であり、新年度の早い時期にウェブ予約を開始できるように事務を進めている。

質 施設のさらなる活用、活性化への取り組みの考えは。

答 指定管理者の長年の活動経験、団体のネットワークを活用した事業展開、市内外で活躍する方を講師に招いてのみんなでまちづくりの開催など、交流の輪がさらに広がる場としたい。

(成田)

温暖化対策実行計画の取り組み方は

質 温暖化対策実行計画（区域施策編）策定事業における市民との関わりをどのように考えているか。

答 事業者・民間団体・公募市民の3人以内で構成される登別市環境保全市民会議と、温暖化対策の取り組み内容、実効性、有効性について意見交換を行い、計画案を策定していく。

計画案については学識経験者をはじめ、各種団体・公募市民で構成する環境保全審議会に諮問後、パブリックコメントを実施し、市民意見を集約する。

(井野)

予算・決算委員会（令和5年度予算審査）各委員の質疑

防犯灯のLED化100%を目指して

質 LED化率が91.4%と100%まであと少しだが、LED化が進めば、電気料金が下がる効果もある。

答 LED化100%に向けた取り組み状況について、どのように進めて行くのか。
質 他の町内会と比較し、LED化が進んでいない町内会に対して、効果や市内のLED化率の状況を説明し、早期のLED化を働きかけてきたところであり、数年に渡り働きかけを行ってきた結果、令和5年度にてLED化100%の達成見込みとなっている。

(村井)

バスの減便のなか、市民の足の確保は

質 バスの減便で赤字は解消されるが、市民にとっては不便と感じ、利用者の利便性も大切だと思いが市の考えは。

答 赤字が改善され、利用者の利便性が低下しないのが望ましい。

交通事業者においては、乗務員の不足が課題となっているほか、今後は人口減による利用者の減少も想定されるため、その時々状況を把握し、公共交通利用者にとって大きくサービスが低下しないよう、意見交換を行っている。と考えている。

(工藤)

福祉体制の重層的支援の強化は

質 福祉体制の重層的支援の強化は。

答 令和6年度から実施予定の支援体制構築のため、関係機関とのネットワークや多機関協働事業へつなぐ相談支援、社会とつながるニーズのメニューや対象者定着支援・受け入れ先支援を行う参加支援・世代間交流を図る居場所づくりなど、地域活動の活性化へ向けた取り組みへの支援などが国のモデル事業として認定されている。それにより社会福祉協議会や各支援機関、町内会などと連携をしていく。

(杉尾)

民生委員・児童委員の担い手不足問題

質 本市の民生委員・児童委員の担い手不足の要因の一つが、住所や電話番号を公表されてしまうことだと考える。市公式ウェブサイトで全国から閲覧できる状況は非常に危険であり、改善するべきでは。

答 個人情報取り扱いについては、時勢に配慮するべきであり、公表を理由に引き受けたくないという方がいる可能性もある。他自治体の事例などを参考としながら、協議していきたい。

(足立)

本市の子ども医療費助成の範囲は

質 今回の本市の医療費助成拡大による変更点は。

答 現在の子ども医療費助成の助成範囲は中学生までとなっており、課税世帯の小・中学生の通院及び中学生の入院は対象外となっている。今回の拡大で助成範囲が高校生世代までとなり、また新たに課税世帯の中学生・高校生世代の入院が対象となる。このことにより、入院については、高校生世代まで課税非課税を問わず助成対象となる。

(佐々木)

見守りの必要な家庭への訪問事業は

質 民間事業者へ委託する本事業は、家庭訪問を行う経験と知識が必要になると思われるが、事前のケース説明や研修のようなものがあるのか。

答 事業者の研修については、本事業の従事者を対象とする内容の研修は、現在、実施されていないが、そのほか、児童虐待の予防に係るような研修など、本事業の内容に資すると思われる研修については、北海道などが適宜開催しているため、参加可能な研修については受講を促していきたい。

(米田)

休日保育の実施施設を増やす考えは

質 休日保育の実施箇所が富士保育所のみのため、就職先を選択する過程で断念している場合も考えられるが、休日保育施設を増やす考えは。

答 休日保育を実施するには、最低限3人の保育士を確保する必要があるが、利用者が少ない現状では、費用対効果の面でも適切と考える。現在そのような要望はないものの、令和6年度に新生町3丁目に開園予定の認定こども園において、体制を整えていただけるよう協議中である。

(千田)

安全・安心な放課後児童クラブを

質 青葉児童クラブの設置場所について、放課後児童クラブへの移動時による交通事故、施設の耐震性、大津波警報発生時の避難への心配など、子どもの安全・安心ファーストの視点で青葉小学校敷地内に配置すべきでは。

答 同じ敷地内に設置されることが理想と認識しており、これまでも検討してきた。安全・安心な施設に感じてもらえるような、放課後児童クラブの設置場所を今後もしっかり検討していきたい。

(今野)

予算・決算委員会（令和5年度予算審査）各委員の質疑

空家等の所有者に対する ニーズ把握を

質 空家等対策事業費の補助金交付実績は、令和3年度0件、令和4年度1件で、あまり利用されていないようだが、所有者のニーズを把握するためのアンケート調査を行う考えは。

答 空き家等の所有者に対し、所有者が置かれている状況や今後の利活用の意向などについて聞き取りを行っているが、今後も管理不全となっている空家や、新規空家等の所有者へ連絡する際には、可能な範囲で聞き取りを行い、所有者ニーズの把握に努める。

（小栗）

登別ビーチパーク園路の整備は

質 事業の整備内容と目的、工事期間及びバリアフリー等の詳細については。

答 ビーチパーク裏側（登別駅側）にある※石積の※擁壁を一部撤去し、園内の芝生部分へ既存の西側出入口までを結ぶ新たな園路を設置し、石山通りの歩道についても新整備の予定である。

年内の完成を見込み、市の基準によるバリアフリー化や歩道面ではアスファルト舗装でヌプルまでの新園路を設置し、市民や観光客などが安全に通行できるものになると考えている。

（若木）

※石積…盛り土の崩壊を防ぐために石材を積み重ねること。※擁壁…斜面の土を留めるための壁状の構造物のこと。

図書館システムの一体化は

質 現在の図書館システムと学校図書館システムとの一体化を行い、効率的な運営をするためのシステム構築について伺う。

答 図書館システムと学校図書館システムとの一体化については、メリットはあると考えている。

現時点では時期が未定だが、次のシステム更新時には、学校図書館システムを所管する学校教育グループ、室蘭市・伊達市との協議を検討していきたい。

（田中）

新入学準備金の早期支給の考えは

質 小・中学校への新入学生にとって、入学の準備は、何よりも心が弾むものですが、そのための保護者の負担は大きく、支給される準備金は経済的支えとなっており、支給が今より1〜2カ月早ければ、子どもたちの心も和やかな春を迎えられます。

質 新入学準備金の支給は1〜2月中旬に支給し、余裕をもって入学準備をすることができるようにするべきでは。

答 支給作業が増加するため、困難である。

（渡辺）

幼児の絵本にふれる機会の向上を

質 絵本の配布と図書館への来館を目的とした、3歳児対象のライブラリースタートについて質問をしました。

質 配布率向上への取り組みは。

答 コロナ禍の影響で配布率が低かったため、現行の取り組みを継続していくが、令和6年度に向けては、おはなし会の土曜日開催なども検討していく。

質 他事業との連携や新たな申し込み方法については。

（伊藤）

議会中継を スマートフォンなどで 閲覧しませんか？



議会に足を運ぶことができない方も、スマートフォンやパソコンで本会議や委員会の生中継、過去の録画中継をご覧いただけます。市議会ウェブサイトからアクセスし、「議会中継」のリンクからご覧ください。

令和5年第2回定例会は6月16日(金)
から開催される予定です。

サポーターとともに 開かれた議会へ

市民からの公募で名付けられた本紙の愛称でいすかすは、市民と議会を結ぶ広報紙として役割を果たしています。

でいすかす16号で公募した、議会サポーターについても、市民と議会をつなぐ重要な役割を担っており、議会との関わりについて一部紹介します。

議会サポーターとは、議会が市民との協働にふさわしい委員会活動や運営を目指し、議案の審査や調査のための参考意見を求めて、市民からご協力を仰ぐことができる制度となっております。

各委員会での意見交換会においては、委員会の活動状況、政策・条例の提案に対する意見や助言をいただき、時には、専門的な知識を有する方をお招きしてご教授いただくなど、市民や有識者のご協力によって支えられています。

これから市民に開かれた議会を目指し、サポーターとともに取り組みたいと考えています。

（伊藤）



広聴・公開委員会委員と議会サポーター